

事業番号	事務事業名	このとり支援事業	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
01852	政策名	1	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者	榎本 美貴
	施策名	16	根拠法令等	鏡野町このとり支援事業助成金支給要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	対象は、男性不妊治療を含む特定不妊治療、または不育治療を県指定の医療機関で受けた夫婦(事実婚関係を含む)であって、申請日において夫婦の双方又はいずれか一方が鏡野町内に1年以上継続して住所を有する者。 (鏡野町このとり支援事業実施要綱第3条、第5条) 申請書の受付、審査、交付決定、支給を行っている。	平成16年から県の不妊治療助成事業が開始され、本町も平成21年度より「鏡野町次世代育成支援対策行動計画」の一環として、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図る目的で本事業を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 不妊に悩む夫婦	ア 申請があった不妊に悩む夫婦	組	見込 実績	35 20	35 17	35 32	35	30
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減	ア 経済的な負担が軽減された不妊に悩む夫婦数	組	目標 実績 達成率	35 20 57.1%	35 17 48.6%	35 32 91.4%	35	30 106.7%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 制度の周知	ア 制度の周知回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 2 200.0%	1	1 200.0%
イ 申請受付、審査、交付決定、振込	イ 申請受付・審査件数	件	目標 実績 達成率	35 20 57.1%	35 17 48.6%	35 32 91.4%	35	30 106.7%
ウ	ウ 交付決定・振込件数	件	目標 実績 達成率	35 20 57.1%	35 17 48.6%	35 31 88.6%	35	30 103.3%

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 03		項 02		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		民生費		児童福祉費		児童福祉総務費		07	08	このとり支援事業			
1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	前年比	決算	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	前年比		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	3,000	2,000	2,000	1,500	1,500	一般財源	1,438	1,242	1,759	1,500	1,500	517		
合計	3,000	2,000	2,000	1,500	1,500	合計(A)	1,438	1,242	1,759	1,500	1,500	517		
財源名称					従事正職員人数		1	1	1	1	1			
					延べ業務事務時間		30	30	30	30	30			
					人件費計(千円)(B)		105	100	101	103	103	0		
	最終予算額		2,000 千円	予算執行率		87.9%	トータルコスト(A+B)		1,543	1,342	1,860	1,603	1,603	517
主な支出事業内容(予算)	不妊治療助成金扶助費				2,000 千円	主な支出事業内容(決算)	不妊治療助成金扶助費				1,760 千円			

事業番号	01852	事務事業名	こうのとりのり支援事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
少子化の中、「安心して生み育てる環境づくり」がますます必要になり、不妊治療の助成制度の充実が望まれる。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
平成28年度中に要綱の改正を行い、平成29年度から一般不妊治療への助成や助成対象の条件を改正した。令和4年度から不妊治療の一部が保険適用となったため、所要の改正を行った。制度改正と共に事業の周知のため、ホームページや広報誌への掲載などを通じて事業の周知に努めている。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
相談はコンスタントにあるが、申請は減少した。不妊治療自体のイメージや利用者の心情、出生数減少に起因する社会的な背景により、利用しづらい環境があるものと思われる。新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えていることも推測される。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	子育て世帯には、安心して出産、育児を行える環境の整備が求められており、町としては出生率の向上につながるため、子育て支援と定住促進の政策体系に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せるとはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	当該事業は、一般不妊治療や健康保険の適用外となる特定不妊治療を対象としており、当該治療を受診することによってお子さんを授かる可能性があるが、治療費が高額であり、他に公費によって負担される制度が無いため町が関与することは妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象は、夫婦の双方又はいずれか一方が申請日において、鏡野町に1年以上継続して住所を有する者である。税金を投入して行う事業であることから、対象は妥当である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	申請のあった不妊に悩む夫婦に対してはすべて助成が行えているが、制度の周知には今後も努めていく必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	当該事業は、町民の安心且つ確実な妊娠、出産と出生率の向上を目的として不妊治療の助成を行っているものであり、これに替わる事業は無いため、事業を廃止・休止することで影響が生じる。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	制度の周知を図ることで、さらに成果が向上する可能性がある。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	当該事業は、一般不妊治療や特定不妊治療の高額な治療費に対して助成を行う方法を採用しており、受診費用を助成額が超えることは無いことから過度な支給とならないため、削減余地は無い。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	当該事業の実施については、担当職員1名が兼務で事業への申請から決定、支給までを行っており、これ以上削減できない。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	当該事業は町内に住所を有する夫婦を対象としており、受益機会は公平・公正である。また、治療費の助成は、特定不妊治療を受診した者に対して治療費の一部に対して助成金を支給していることから費用負担は適正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	申請のあった不妊に悩む夫婦に対してはすべて助成が行えているが、制度の周知には今後も努めていく必要がある。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として大きい中、32件の申請があり、5名の出生と3名の妊娠を確認している。 令和4年度からは不妊治療の一部が保険適用となるが、一般不妊治療については保険適用外部分及び保険適用の自己負担部分も助成対象とし、制度を必要とする方により利用しやすい環境を提供する。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 制度の周知に努め、より利用しやすい環境の醸成を図る。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△		低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			△																					
	低下			×																					